

熊本高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	インターンシップ実習 3	
科目基礎情報							
科目番号	AE1130			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	実験・実習			単位の種別と単位数	学修単位: 3		
開設学科	電子情報システム工学専攻			対象学年	専1		
開設期	集中			週時間数			
教科書/教材							
担当教員	角田 功,柴里 弘毅,大石 信弘,西山 英治,本木 実,小田川 裕之,葉山 清輝,松田 豊稔,藤本 信一郎,博多 哲也,嶋田 泰幸,中島 栄俊,大塚 弘文,永田 正伸,村上 純,小松 一男,山本 直樹,合志 和洋,縄田 俊則,清田 公保,島川 学,大隈 千春,小山 善文,高倉 健一郎,大木 真,新谷 洋人,松尾 和典,西村 勇也,寺田 晋也,神崎 雄一郎,中野 光臣,赤石 仁,永田 和生,ト 楠,藤井 慶,芳野 裕樹,野尻 紘聖						
到達目標							
学生が企業先でインターンシップを通して自分自身の技術者としての能力や実力を把握し、社会がどのような技術者を求めているのかを知ることができる。また、将来の職業人としてまた技術者としていかに仕事に従事していくかということを理解し、職業意識を啓発することができる。 ・技術者としてのマナー、姿勢、心構えを十分理解し行動することができる。 ・インターンシップ期間中、実習の実施、体験を自ら進んで行うことができる。 ・インターンシップ期間中、質問や意見等を積極的に述べる事ができる。 ・技術の社会的背景や視点を適切に理解し、技術者として体験したことや問題点などを深く考察することができる。 ・学内報告会において、実習内容を適切に発表することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	技術者としてのマナー、姿勢、心構えを十分理解し行動することができる。			技術者としてのマナー、姿勢、心構えを概ね理解し行動することができる。		技術者としてのマナー、姿勢、心構えを理解しておらず、行動することができない。	
評価項目2	インターンシップ期間中、実習の実施、体験を自ら進んで行うことができる。			インターンシップ期間中、実習の実施、体験を指示通り行うことができる。		インターンシップ期間中、実習の実施、体験を指示通り行うことができない。	
評価項目3	インターンシップ期間中、質問や意見等を積極的に述べる事ができる。			インターンシップ期間中、質問や意見等を求められて答えることができる。		インターンシップ期間中、質問や意見等を求められても答えることができない。	
評価項目4	技術の社会的背景や視点を適切に理解し、技術者として体験したことや問題点などを深く考察することができる。			技術の社会的背景や視点を理解し、技術者として体験したことや問題点などを概ね考察することができる。		技術の社会的背景や視点を理解できない。技術者として体験したことや問題点などを考察することができない。	
評価項目5	学内報告会において、実習内容を適切に発表することができる。			学内報告会において、実習内容を発表することができる。		学内報告会において、実習内容を発表することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	この科目は、学生の積極的かつ自発的に行う学習活動の一つとして、教育上有益と認められるインターンシップ活動に関して、一定の成果が認められたものとして単位の修得を認定する。事前・事後研修に積極的に参加し、インターンシップ活動の総時間数として45単位時間以上の学習活動が求められる。 ・インターンシップ実習1（1単位）45時間以上 ・インターンシップ実習2（2単位）90時間以上 ・インターンシップ実習3（3単位）135時間以上 ・インターンシップ実習4（4単位）180時間以上						
授業の進め方・方法	学生が企業先でインターンシップを通して、自分自身の技術者としての能力や実力を把握し、社会がどのような技術者を求めているのかを知り、将来の職業人としてまた技術者としていかに仕事に従事していくかということを理解することで、職業意識を啓発する。派遣企業決定、実習内容等の指導・助言等のインターンシップ準備から報告書作成・提出まで一貫して指導教員が行い、科目修得は企業実習活動について45単位時間以上で申請することができる。評価は学生の事前研修参加と準備状況、インターンシップ実施状況と成果、事後研修参加とインターンシップ活動報告書、企業からの実施報告書等を総合して指導教員が行う。						
注意点	JABEEプログラムの修了要件として、 ・インターンシップ実習1（1単位） ・インターンシップ実習2（2単位） ・インターンシップ実習3（3単位） ・インターンシップ実習4（4単位） ・プロジェクト実習（2単位） のいずれかの科目を履修し、単位取得する必要がある。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	(本科目は主に長期休業期間中に集中して実施されるため、週ごとではなく、実施する内容について記述する)				
		2週	本校に寄せられたインターンシップ受け入れ企業の中から希望する企業について事前調査し、エントリーする。		企業について事前調査を行い、業種等について理解することができる。		
		3週	インターンシップ企業が決定した後、企業側担当者と実習内容について事前打ち合わせを行う。		実習内容を事前に把握することができる。		
		4週	インターンシップ企業において指定の期間の実習を行い、日報等を作成する。		企業から与えられた課題や作業を遂行することができる。		
		5週	インターンシップ終了後、成果報告書を作成し、報告会を行う。		実習成果を報告書にまとめ、発表することができる。		
		6週					
		7週					

	2ndQ	8週				
		9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				
後期	3rdQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	4thQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合						
		実習実施		発表・レポート		合計
総合評価割合		75		25		100
基礎的能力		75		25		100